

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		様々な年齢の児童がいるため、個室を準備したり個性に応じて対応している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		スタッフを毎日6～7人配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お部屋を分けたり、静かにしたい子などにも配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		退所後1時間ほど清掃の時間に当てている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		分けています。それぞれの年代に応じて対応できている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月に1回ミーティングを行い業務改善をしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いた意見はスタッフと話し合い返答している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に1回ミーティングを行い業務改善をしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	できていない。令和7年度中にできればと考えている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の案内を周知し受講を募っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		必ず保護者との面談等を通してアセスメントを行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		はい、週一回ほどスタッフで話し、支援会議をしている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		HUG上で個別支援計画が共有できている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		HUG上で個別支援計画が共有できている。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週一回スタッフと支援会議をしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月一回ミーティングをしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		週一回スタッフと支援会議をしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝行っている。その日の児童の気を付ける点など再確認している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎終了後に集まり共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		HUGにて行えている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		HUGにて行えている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		その子に応じた適応訓練や屋外の活動などを通して社会性を高めている。また脳バランスキッズなど認知機能のトレーニングに取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定を尊重し、小さな場面では自分でお菓子を選んだり買い物をしたり自己選択ができる支援をしている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者が参加し、近況や支援状況を共有している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		担当者会議の出席や可能な限り関係機関との連携を図っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		できている。保護者からの情報提供も活用している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		できているが100%ではない。就学前に担当者会議などで情報を共有している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		担当者会議などで共有している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	できていない。令和7年度中にできればと考えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園などのお出かけで地域の子と顔見知りになり遊んだりできている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	できていない。令和7年度中にできればと考えている。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINEやHUGなどのICTを活用し、気軽に様子が確認できるよう務めている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	できていない。ペアトレの研修参加など職員の知識、技術の習得を促していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にしっかりと時間を取り説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		LINEなどで気軽に意見などをしてもらい、よりよい事業所になるよう務めている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず計画の説明をする機会を設けHUG上でデジタルサインを頂いている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		お電話やLINEを通して相談を受け、場合によっては面談の機会を設けている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	できない。今年度は何かしら交流の機会を設けたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		LINE等で意見を頂くことがあるが、お電話などで対応することで満足頂いている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HUG上で月に一度活動報告をしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかる書棚で情報は管理している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードや見通しが立つように支援している。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	できていない。自治会の回覧板などを通して案内していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者への通知ができていなかった。活動報告を通して周知していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		できている。必ず避難訓練や防犯対策などを行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント実施の際に確認するようにしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		指示書をもらっている保護者からは頂くようにしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		できている。遊具や玩具の点検をしたり、置き去り防止のための装置を取り付けている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	周知ができていなかった。活動報告を通して周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		できている。危険な場面があった際は報告書を作成しスタッフと話し合いをしている。

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		勉強会の実施や新入職員は入職した際は必ず実施している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	そのような場面がなく、いいえとする。